

平成29年度 学長戦略経費（公募型プロジェクト）研究成果概要報告書

経費の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 共同研究推進 <input type="checkbox"/> 若手教員研究支援 <input type="checkbox"/> 個人研究支援 <input type="checkbox"/> 研究推進重点設備 <input type="checkbox"/> 研究推進設備修繕		
プロジェクトの名称	幼稚園における「チーム学校」のあり方に関する実践的研究		
報告者氏名・所属・職名	北山雅章 附属旭川幼稚園 副園長		
プロジェクト担当者氏名・所属・職名	北山雅章	北海道教育大学附属旭川幼稚園	副園長
	高橋良江	北海道教育大学附属旭川幼稚園	同教諭
	鶴岡有貴	北海道教育大学附属旭川幼稚園	養護教諭
	川端美穂	北海相教育大学旭川校	准教授
	二井仁美	北海道教育大学旭川校	教授
研究内容及び成果の概要			
<p>これまで附属旭川幼稚園では、特別支援教育を要すると考えられる園児について大学の特別支援教育教員によるアセスメントを受け、そのスーパーバイズの下での特別支援教育支援員を配置し、あるいは地域の児童福祉資源と連携するなど、大学の専門家チームと幼稚園教諭、養護教諭、支援員、地域資源の「チーム」による保育を実施してきた。</p> <p>このような「チーム」体制の検証と評価を行うためにも、他の国立大学附属幼稚園における「チーム」体制との比較分析を行い、国立大学附属園における「チーム学校」の現状と課題を解明することをめざした。あわせて、専門性に基づくチーム体制、学校のマネジメント機能の強化、教員一人一人が力を発揮できる環境の整備という3つの視点を踏まえ、「チーム学校」という観点からの国立教員養成大学と附属学校園との今後のあり方、マネジメントモデルを模索した。</p> <p>具体的には、北海道教育大学や鳴門教育大学、京都教育大学、奈良教育大学等の附属幼稚園と大学との間における「チーム」事案について、整理した。特別な支援を要する園児を中心としたチームや、より豊かな保育実践のために構成されるチームなど、幼稚園側のニーズを反映して構成されるチームでは、大学の専門家がハブとなる事案、幼稚園がハブとなる事案、教員養成に主眼を置くチームでは大学の教員がハブとなる事案に特徴がある。全体としては、附属園が「チーム学校」のマネジメントを担っているケースが多く、今後の課題として、大学側が附属園と大学をつなぐマネジメントモデルが必要であることが明確になった。</p>			
成果の公表の状況			
【著書】 なし 【学術論文】 なし			
教育現場で活用可能な分野・教材等			
なし			
配布又はダウンロード可能な資料			
問合わせ先	代表者：附属旭川幼稚園 副園長 北山雅章 電話：0166-54-3556 FAX：0166-53-4010 mail： asa-yochien@j.hokkyodai.ac.jp		